

2018-19年度ライオン誌日本語版委員会 第12回会議 報告書

日 時：2019年6月7日(金) 13:30～16:00

場 所：一般社団法人 日本ライオンズ 事務所

出席者：国際理事	佐藤 義雄 (長野県・戸倉上山田ライオンズクラブ)
国際理事	安澤 莊一 (福島県・白河小峰ライオンズクラブ)
委員長	矢野 敏明 (336複合地区／島根県・松江葵ライオンズクラブ)
編集長	稲岡 敬弘 (332複合地区／秋田ライオンズクラブ)
委員	渡辺 和廣 (330複合地区／山梨県・甲府シティ ライオンズクラブ)
委員	渡辺 修 (331複合地区／北海道・美唄ライオンズクラブ)
委員	渡邊 信也 (333複合地区／新潟県・亀田ライオンズクラブ)
委員	西川 恒彦 (334複合地区／静岡県・富士宮ライオンズクラブ)
委員	神崎 守 (335複合地区／京都やわたライオンズクラブ)
委員	椿 幸雄 (337複合地区／熊本火の国ライオンズクラブ)
一般社団法人専務理事	高橋 克文 (千葉県・船橋翼ライオンズクラブ)
ITアドバイザー	莊 英隆 (東京恵比寿ライオンズクラブ)



矢野委員長の開会あいさつに続いて、佐藤、安澤両国際理事からあいさつと国際関係報告及び国際協会における日本の立ち位置と発言力に関する提言があった。また、日本ライオンズ高橋専務理事から2020年7月以降のライオン誌発行に関連して日本ライオンズの現状説明とライオン誌委員会としての意見具申についての示唆があり、その後、矢野委員長、稲岡編集長の進行で議事に入った。

【議事】

1. ライオン誌日本語版の運営 (別紙-月次決算報告)

2019年4月度の収支計算書を元に会計担当者から説明があった。この月は本誌の発行があったため、紙媒体発行に関わる印刷費2,565,000円、及び発送事務費1,020,759円が発生。またライオン誌送料を収支双方に計上しているが、郵便料金改定に伴いライオン誌個人発送の送料が1部当たり3円値上がりしており、ライオン誌としての追加負担額は約20万円となった。その結果、4月度は約56万円の赤字となり、累計では8,647,853円の収支差額が出ていることが説明された。※一般社団法人理事会旅費や借室料など、年度末精算の予算額を差し引いた収支は約434万円の黒字。

●2018-19年度第3四半期国際協会補助金

国際本部から今年度第3四半期の補助金が9,948,254円であるとの通知があった。1～3月の基準会員数90,160人、為替レートは1ドル110.34円での計算だった。

●国際協会補助金2ドル減額対応

国際本部は公式版ライオン誌のデジタル化を推し進め、2018年1月から公式版の補助金を会員1人当たり年6ドルから4ドルに減額し、印刷版の最低発行回数を年6回から4回に変更。

更にこの春の国際理事会で、2020年7月以降、補助金を更に2ドル減額し、印刷版の最低発行回数を年2回とすることが決定された。これを受け、前回会議で対応を話し合ったところ、現状ではデジタル化に対応していない会員が多く、ウェブ版の利用は限定的であり、公式版としての役割を果たすには印刷版の発行継続が不可欠であるとの認識で一致。その際、発行回数については意見が分かれたが、今回改めて各委員の意見を確認した結果、現在の年6回発行を維持する方向で調整することが決まった。今後、委員長、編集長を中心に今年度ライオン誌日本語版委員会としての見解をまとめ、剰余金の活用などを含む具体的な運営案と共に日本ライオンズ理事会に提案する。

2. 本誌関係

●2019年7・8月号（6月20日発行）台割

特集は「私の考えるライオンズクラブ」（神崎委員提案）で、本誌で募集した同テーマの応募作の内容を踏まえ、「ライオンズの魅力」をテーマに稲岡編集長、矢野委員長、330複合地区渡辺委員の鼎談を実施。各委員が所属クラブや近隣のクラブの協力で集めたアンケートの集計結果も交えて、鼎談の内容を記事にまとめた。表紙はライオンズの魅力を表現する写真のコラージュで構成し、過去の取材でカメラマンが撮影した写真3点を使用。「国際理事だより：安澤莊一国際理事」、「編集室：神崎守委員」。

3. ウェブマガジン関係

●2019年6月号（6月1日更新）出来

6月1日更新のウェブマガジン6月号の出来を確認した。併せて、国際協会提供の公式版のスマホアプリの出来を確認。一部写真の表示に不具合があるなど、まだ完全な状態ではなく、国際本部が外注しているシカゴの印刷会社とやりとりを重ねながら最適化を図り、アプリの活用につなげていく。

●2019年7月号以降台割案

7月号から9月号の主要コンテンツについて、内容と取材経費が提出され、承認した。

4. 主要記事予定

●2019年5月取材経費

5月に実施した取材の旅費及び外注費の経費一覧が提出され、確認をした。

●2019年6～2019年8月取材経費概算

6月から8月にかけての取材経費概算が提出され、詳細が確定していない取材3件を除いて承認した。

5. その他

●EMMR切断時の対応

荘ITアドバイザーから、国際本部の報告システムと国内の報告システム「サバンナ」をつないでいるとEMMRの切断について進捗状況や今後の展望などについて説明を受けた。

●次年度第1回委員会開催予定

新年度理事会との調整が必要だが、ライオン誌編集・発行業務を行うため、次年度第1回会議を8月8日もしくは9日の13時半から開催することを希望する。